

カモナマイハウス

「廃屋はもう朽ち果てていくしかないけど、空き家は違う。また生活が始まるかもしれない。」重松清さんの小説「カモナマイハウス」にこんな印象的な台詞がある。役職定年となって、出向先の不動産会社で空き家のメンテナンスに携わる主人公のつぶやきです。曲がり角を迎えた自らの人生と住処というものの行方を重ねた感慨だろう。この物語は今、日本中で増え続けている空き家をめぐるリアルな悲喜劇です。

作中に、全国の空き家の数は、2018年の時点で8.49万個というくだりがある。先日発表された2023年の統計では、これを大きく更新し900万戸に迫った。住宅数に占める割合は13.8%。これら空き家のうち、長期にわたって居住や使用の目的がない「放置空き家」は385万戸。共同住宅のなかの物件は502万戸…。思えば実に膨大な数字です。人の住まぬ家は災害に弱く、犯罪の温床になり、まちづくりの障害になろう。マンションであれば建て替えを阻む。

小説にはやり手の「空き家再生請負人」が登場する。火葬を待つ遺体の安置所に使うといった手法に周囲は戸惑うが多死社会の現実を直視させてやまない。ちなみに「カモナマイハウス」とは戦後復興期に江利チエミさんがカバーした名曲のタイトルです。～家においでよ、わたしのお家へ～。そこに暮らしがあった。

鎌野



自然災害

先月はコロナに感染してしまったお話をしました。コロナに掛かってから治るまでに一週間、まあ普通に仕事できるようになるまで10日くらいかかりました。そして後遺症なのか鼻水と咳が残り、鼻水は3週間ぐらい、咳は1月経った今でもまだ少し残っています。

この夏の熱さと併せて、いま完全に夏バテの状態です。早く涼しくなってもらいたいものです。まあ、御殿場は他の地域の気温をみると、恵まれてはいると思いますが年々歳を取り、体力がなくなっていく身には厳しい季節ですね。もう、夏は要りません。

昔は寒い冬が嫌いでしたが、こんな夏なら冬の方がずっといいですね。命の危険を感じる今年の夏です。また先日日本列島に近づいた台風7号は、950hPaという非常に強い勢力のまま北上してきて、日本列島をかすめていきましたが、950hPaという勢力は物凄いもので、今までこのような強い勢力のまま、日本列島に近づいてきた台風は、ほとんどないと思います。今回は上陸せずにそれでしたが、直撃すれば大変な被害が出たと思います。今後もこのような台風がやってくることは避けられないでしょう。大地震だけでなく、台風にも備えなければなりませんね。

英樹



配り

第 303 便

勝亦製材駿河鉄骨榎

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地



夕暮れに開けつばなしの窓閉むと伸ばす手の先虫の音落ちる

ねがみともみ



穂^ほ孕^むみの早^{はや}稲^{いね}の稲^{いね}田^{でん}を舐^なめ吹^ふける風^{かぜ}の行^ゆ方^{かた}を豊^{ゆた}けく追^おうも

勝亦 りつ子



ドラマ

君はテレビっ子、という歌が昔あったけど、僕はテレビっ子です。ドキュメンタリー、クイズ番組や音楽番組、ドラマも色々観ます。この夏の地上波のドラマもいくつか連ドラ予約で観ているのですが、観る時間が無くて録画がどんどん溜まってしまって困っています。結局まだ一話目すら観ていないドラマがある位なんですけど、更に困ったことに追い討ちを駆けるがごとく、Amazonプライムでインターネット配信のツインピークスが始まってしまいました。

ツインピークス、ご存知でしょうか？1990-1991にアメリカで放送されていたミステリードラマなのですが、日本ではWOWOWで放送されていました。当時我が家はWOWOWに加入していなかったもので、友人が録画したものが回ってきて何話分かを観たことがありました。奇妙で難解なストーリーで当時の僕にはよく判らなかったのですが、それを今、再び観る事が出来るようになっていてちょっと興奮しております。

ところがですよ、昼間はしっかり働いて、天気予報を眺めながら夜な夜な富士山麓へ写真撮影に出かけ、録画したドラマを消化しているとそれだけでもう寝る時間もほとんどなくなってしまうのです。ここにツインピークスを差し込む隙間が無い！全部で42時間らしい。あらま！どうしましょ。

Amazonプライムさん、これいつまで観られるのでしょうか？出来る事ならずーっと配信してもらえませんか？それならばいっそDVDでも買ってしまおうかとも考えたけれど、うちにはプレイヤーが無かったんだって・・・。しかたない、頑張ってるかあ。オリンピックが終わったのにまた寝不足の日々が来るのか・・・あ、パラリンピックも始まるぞ・・・参った。

柳田敏和



処暑



現在、二十四節気の『処暑』です。処暑の『処』には止まるという意味があり、暑さがおさまる頃を表します。残暑はまだ厳しいものの、夏の太陽の勢いが徐々に鎮まり、朝晩は過ごしやすくなる時期です。と同時に台風到来の時期でもあり自然災害に気を付けましょう。とあります。そんな中、静岡で開催中の劇団四季の『CATS』を観に行ってきました。南海トラフ地震の注意喚起や台風など、主婦の行動は自然災害も気にしないとイケません。当日は、曇り時々晴で、御殿場とは比べ物にならない静岡の暑さに汗を拭きつつ行ってきました。

初めてのミュージカル。『CATS』の物語のあらすじを頭にいれず。配役も気にせず、でしたので、物語の流れはさっぱりでした。会場はセットで埋め尽くされ、ご当地のゴミ、『のっぽさん』『バリカツオ』のゴミが猫の視点で飾ってありました。劇団四季の方々は歌も上手く。踊り？も迫力があり良かったです。夏休みということもあり子供も大勢いました。横の席に小学生低学年の男の子が観ていましたが、前半は『これでおわり？』等と言っておりましたが、後半の盛り上がりには身を乗り出して舞台を観ていました。その反応は一緒に行った友達にも当てはまり、前半はコクリコクリと・・・毎日この舞台を行うのは膝が痛くなるね。と、おばさん三人。

最後には会場全体がスタンディングオベーションで閉演となりました。

一度は観たかった劇団四季の舞台。若いっていいなあ・・・。いやいやまだまだ、挑戦できることは挑戦しないと・・・。でも、飛び跳ねられないなあ。と当たり前ですが痛感し、デパートの甘味処で『ところてん』を食して帰路につきました。

兼題：花見 桜鼠画板はみ出し花見かな

ねがみ



ジビエを食す

今回で2回目となるイノシシの丸焼きを食べるツアーに参加してきた。会場は乙女森林公園第2キャンプ場。暑さ対策か、16:00スタート。参加者は20人ほど。雨の予報だったが時々パラパラするものの開催の間はなんとか降られずにすんだ。猟師さんの罾や富士山周辺の野生動物のお話を聞き、昼過ぎから焼き始めたというイノシシを部位ごとに切り分け、少しずついただいた。炭の香ばしい香りとかみごたえある筋肉質のさっぱりとした油の肉という感じ。前回はパンに野菜とイノシシ肉をサンドできるようなパンの用意もあったが、今回はピザ窯でピサトーストをいただいた。冷たいクロモジ水の用意もあった。爽やかな香りとスツとする飲み心地。前回は寒い時期で温かいお茶としていただいたが少し渋みがあり、こちらはクセがあまりない。クロモジは高級爪楊枝で知られるが、リラックス効果や抗ウイルス効果も期待されるそう。薬用養命酒にも入っていますね。

ツアー募集にはイノシシジャーキーづくりも載っていたが、諸事情により無しに。楽しみにしていたのでちょっと残念。

祥子

